

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：ogi-ken@ae.wakwak.com
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

チャレンジデーの結果報告！

いよいよ6月に入り、入梅が間近となりました。今年は5月から台風が頻繁に発生し、この先、日本上陸も多くなるとの予報もあるそうです。

先日の小笠原諸島を震源とする地震を含め、自然災害が頻繁に起きていますから、日ごろより災害に対する備えをしておく必要があります。

災害の際に限らず、世の中には「自助・共助・公助」三つの『助』がありますが、公的扶助たる公助は最後の砦となりますから、まずは自助・共助を充実させる事で、より良い地域づくりに皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

さて、兼ねてから広報・宣伝をしておりました「チャレンジデー」が5月27日に行われました。

今回の対戦相手は3月21日に国内友好交流都市協定を締結した秋田県大仙市であることは既報の通りですが、大仙市はチャレンジデーに3回目のトライということで、すでに市民に定着している様子で、人口86,546人に対し参加率51.7%となる44,767人のご参加でした。

座間市は、人口128,918人に対し参加率30.9%となる39,822人との結果となりました。初挑戦につき、勝利は厳しいと言われておりましたが、残念な結果となってしまいました。

しかしながら、座間市民体育館「スカイアリーナ」で行われたオープニングセレモニーの様子は、当日のTVKテレビで大々的に報じられ、特にボクシングの世界チャンピオン、史上最速で2階級を制覇した井上尚弥選手や、元NHKみんなの体操アシスタントの藤元直美さんといった座間市出身のスポーツに縁ある方々もご参加され、盛大に開催されました。

結果（勝敗）も大事ですが、何よりも市民の運動に対する意識啓発が最大の課題ですから、このイベントを契機に皆さんの健康に対する意識が変わることで、医療費などの社会保障費の適正化に繋がればよいと思います。

医療費の適正化といえば、最近テレビなどでも話題に上がることの多い、病院などでの処方薬の過剰供給、いわゆる「残薬」についてですが、今年度から座間市薬剤師会の会長にご就任された旧知の薬剤師さんからご意見を伺ってまいりました。

薬剤師会としては残薬については大変厳しい見解をお持ちとのことで、近いうちに意見交換会を開催して頂く事になりました。

この「残薬」問題については、この秋から導入が決まっている「マイナンバー制度」が救世主となる可能性があるようです。

様々な理由で複数のクリニック・医院にかかり、処方箋を処方され薬局に向う際、一般的には「薬局ごとにおくすり手帳」というイメージが定着してしまっているようで、結果としてそれぞれの薬局で適正な処方が出来ず、無駄な重複処方が起こり得る状況との事でした。

しかし、マイナンバー制度が導入され、電子カルテの要素が普及すれば、こうした重複した処方を回避でき、ひいては医療費の適正化が促進されると期待されているようです。

健康に対する意識啓発や残薬などに対する意識啓発。いずれにしても、市民皆さんの意識啓発が何より重要であると思います。

有名な、J・F・ケネディ大統領の就任演説の一節「新しいアメリカとアメリカ大統領が何をしてくれるかを求めるのではなく、あなたがアメリカに何が出来るかを考えて欲しい」

この言葉こそ、現代社会に一番求められているものかも知れません。